



新本っ子

学校通信 No. 19

令和5年7月発行

新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】

令和5年7月5日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

みんなできれいにしたよ！ ～さつき園～



協力して草運び



きれいになったさつき園



学校支援ボランティアの皆様

4日(火)、学校支援ボランティアの皆様、上学年児童(4年～6年)、教職員で、さつき園の手入れを行いました。さつき園は校舎周辺のさつきの植え込みで、春先には朱色、赤色の花がきれいに咲き誇り、本校のシンボリックな存在となっています。

当日は学校支援ボランティアの方々が早朝よりさつきの剪定、裏庭や裏山斜面の草刈りをしてくださいました。上学年児童と教職員は、刈った草の草運びを行いました。暑い中での作業でしたが、終了後きれいになったさつき園を見ながら、協力して成し遂げた成就感を味わうことができました。

さつき園の手入れに際しては、早朝より剪定、草刈りなどご協力いただき、ご支援いただいた学校支援ボランティアの皆様にご心からお礼申し上げます。活動を支えて下さり、誠にありがとうございました。

正直【7月講話(7月3日)】

7月の品格目標は正直です。今日は正直についてのお話をもとに考えます。(主人公(小学4年生)がお遣いの際、ガラスコップを割ったことを母親に正直に言えず、その後、後悔する話を提示し音読。)

正直とは、「正しいことをしたい」という自分の心に向き合って生きることです。

人には正しいことをしたいという心があります。しかし、自分に都合の悪いことはごまかしたいという心も生まれることがあります。その2つの心が綱引きをします。

お話の主人公は「ごまかしたい」という気持ちが勝ってしまいましたが、もやもやした気持ちはずっと残り、すがすがしい気持ちではいられませんでした。

人はだれでも過ちを起こします。その時どうするかが大切なのです。「正しいことをしたい」という心を大切に自分の心に向き合うこと、それが正直に生きることです。一時ごまかすことができて、すがすがしい気持ちではいられませんが、もし、皆さんの心の中で2つの心が綱引きを始めたなら、今日のお話を思い出してください。皆さんには、「正しいことをしたい」という心を大切に、明るく晴れ晴れした気持ちで毎日を過ごしてほしいと願います。

